

請 願 文 書 表

受理番号	7-3	受理年月日	7.5.26	付託委員会	建設常任委員会
請願者の住所及び氏名	城陽市平川古宮21-12 曾賀野 宏美			紹介議員	本城 隆志
件 名	適格請求書等保存方式（インボイス制度）の廃止、もしくは見直しを求める請願				
要 旨	政府及び国会に対し、適格請求書等保存方式（インボイス制度）の廃止、もしくは見直しを求めること				

< 請願の趣旨 >

政府及び国会に対し、適格請求書等保存方式（インボイス制度）の廃止、もしくは見直しを求めること

< 請願の理由 >

2023年10月、適格請求書等保存方式（インボイス制度）が始まった。制度開始から1年半が経過したが、この制度には多くの問題が存在し、埼玉県議会では2024年12月、自民等県議団が提出した「インボイス制度の廃止等を求める意見書」が可決された。

同意見書ではインボイス制度を起因とした減収や税負担増による経営状況の悪化、経理事務の過大な負担を訴える事業者の声を紹介するとともに、エネルギー価格や原材料費等の高騰により厳しさを増す経営環境について指摘し、「制度そのものを廃止することが最良の策と言わざるをえない」と述べている。

本年3月には、佐賀県議会でも全議員が提出者となる「適格請求書等保存方式（インボイス制度）の見直しを求める意見書」が可決された。

一方、自民党国会議員の約2割強が加入する「責任ある積極財政を推進する議員連盟」が2023年10月に「インボイスが原因で小規模事業者が減収・廃業することが無いよう、抜本的支援策を実施すること」と提言に盛り込んだ通り、以前より多くの自民党国会議員からも、この制度を問題視する声があがっていた。

また、自民党地方議員が共同代表を務める「積極財政を推進する地方議員連盟」でも「共通政策提言」の中で同制度の廃止を掲げる他、2024年6月現在、全国自治体数の2割を超える367自治体で同制度の中止・延期・見直し等を求める意見書の請願・陳情が採択されている。

この制度下では、消費税の原則課税が適用される事業者が制度開始以前と変わらず仕入税額控除を受けるには、取引先から適格請求書等（インボイス）をもらう必要があり、もらえない場合は消費税の原則課税適用事業者が税負担増となる。

一方で、年間売上1000万円以下の消費税免税事業者はインボイスを発行することができず、インボイスを発行するには、売上が1000万円以下であっても自ら進んで消費税の課税事業者を選択する必要があり、消費税の納税義務が発生することとなる。

また、消費税免税事業者が課税事業者を選択しなかった場合にはインボイスを発行することができず、インボイスを取引先に交付することができないため、取引先の税負担が大きくなることから、不当な値下げを要求されたり取引から排除される可能性がある。

実際に「インボイス制度におけるフリーランス等7000人実態調査」（調査主体：インボイス制度を考えるフリーランスの会、調査期間：2024

年3月22日～4月5日)によれば、未登録事業者の45%が制度開始後、重要な発注元・売上先からの値引きや取引排除などがあったと回答。また、インボイス登録事業者の6割が「事業が成り立たなくなりそうだ」「負担軽減措置のある間に対応できるが、その後の目処がたたない」と回答し、登録事業者の6割超が消費税や事務負担にかかる費用の補填方法として「売上、貯蓄などから捻出」と回答、そのうち、7.4%が消費税の納税のために「借り入れをして補填した」と回答している。

今回わが国で施行されたインボイス制度は、帳簿方式とインボイス方式を併用する世界に類を見ない複雑な税制であり、インボイス対応で新たに発生する民間の業務負担は、人件費に換算すると全国でひと月あたり約3400億円にも及ぶとする試算がある。インボイス制度は、人材不足が叫ばれている中で、事業規模の大小に関わらず、まったく生産性のない作業を多くの事業者に強いている。

今でも日本商工会議所は制度施行に慎重な姿勢を崩しておらず、全国青年税理士連盟、青年法律家協会、全国青年司法書士協議会も制度反対の声明を発表している。

経済低迷期を抜け出せない状況下で始まったインボイス制度は、多くの事業者の事業存続を危うくし、ひいては地域経済や地域社会に負の影響を与え兼ねないものとして警鐘が鳴らされ続けてきたが、制度開始後二回目の確定申告が終わり、多くの事業者にとって制度導入による税負担増が実感されることとなった。制度導入時の負担軽減措置の終了時期は確実に近づいている。負担軽減措置が終了すれば、税負担がより深刻なものとなり、多くの事業者の事業継続が困難となるだろう。残された時間は少ない。

よって、貴議会が政府及び国会に対し、インボイス制度の廃止、もしくは見直しを求める意見書を提出することを求め、請願する。